

A classical painting of a woman with braided hair holding a man's head by his hair over a railing, set against a backdrop of a river and distant figures.

2026年3月2日 (月)

13:00-17:00

同志社大学
今出川キャンパス
良心館401

フランス・ルネサンス期における抒情詩の主体—ソネを中心に
(伊藤玄吾・同志社大学)

サント＝ブーヴの「伝記批評」について
(池田潤・白百合女子大学)

万人の声としての内なる声—ユゴー抒情詩の主体をめぐって
(中野芳彦・青山学院大学)

象徴主義における詩と＜私＞、詩の＜私＞
(松浦菜美子・関西学院大学)

Francis・ポンジュにおける事物の詩と抒情
(綾部麻美・慶應義塾大学)

コメンテーター：小野寺賢一（ドイツ文学・東京都立大学）

《公開シンポジウム》

フランス抒情詩と 作者・主体・声

対面+zoom開催

- 対面参加・zoom参加ともに、下記URLまたはQRコードから2月25日(水)までに事前申込をお願いいたします。
- 対面参加は事前申込なしでもご参加いただけますが、なるべく事前登録にご協力ください。
- zoom参加の方には2月末ごろメールにてzoomミーティング情報をお送りします。

URL : <https://forms.gle/aRS2mKfYPT5wvFS9q>

お問い合わせ : poesie.lyrique.francaise@gmail.com

本シンポジウムはJSPS科研費「ドイツ語圏を中心とするヨーロッパにおける抒情詩の『話者』概念の展開」(22K00454)の助成を受けて開催します。





《プログラム》

13:00-13:10 趣旨説明（松浦菜美子）

【第一部】（司会：松浦菜美子）

13:10-13:45 フランス・ルネサンス期における抒情詩の主体—ソネを中心に（伊藤玄吾・同志社大学）

13:45-14:20 サント＝ブーヴの「伝記批評」について（池田潤・白百合女子大学）

14:20-14:55 万人の声としての内なる声—ユゴー抒情詩の主体をめぐって（中野芳彦・青山学院大学）

（休憩）

【第二部】（司会：中野芳彦）

15:10-15:45 象徴主義における詩と＜私＞、詩の＜私＞（松浦菜美子・関西学院大学）

15:45-16:20 フランシス・ポンジュにおける事物の詩と抒情（綾部麻美・慶應義塾大学）

16:20-17:00 コメント 小野寺賢一（ドイツ文学・東京都立大学）

ラウンドテーブル

《交通アクセス》



《キャンパスマップ》

会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館401

